

薬物乱用防止教室

令和3年9月14日(火)、薬物乱用防止教室(兼 道徳教育)を行いました。能代警察署生活安全課少年係の高橋恭子さんより「薬物が身体に及ぼす影響と現状」をテーマにお話ししていただきました。薬物使用の罠は実際に身近なところで起きていることを、ドラマ仕立てのDVDや薬物の模造標本も見せてくださりながら、分かりやすく説明してくれました。市販薬やエナジードリンクも、ひとたび摂取量を誤ると薬物乱用につながるということが分かりました。



講師の先生の紹介



ドラマ仕立てのDVDを使って説明



県内の事例も紹介



真剣に講演を聴いています

～生徒の感想より～

「案外、他人ごとではないということに驚きました。ちゃんと薬の使用量を守ってこれからも服用したいです。」

「改めて薬物の危険性を理解できた。エナジードリンクを好んで飲んでいるので、飲み過ぎに注意したいです。」

「普通の薬も大量に飲んだら薬物乱用になってしまうことに驚きました。ちゃんと薬の使用量を守ってこれからも服用したいです。」

「薬物をやっている友だちがいたら止めようと思った。さそわれても断る。」

「薬物にもし、誘われたら、しっかりと断る勇気と、やってはいけないということを心にとめておきたいです。また、他人ごとではないので、もし、他の人がやっていたら、言ってあげるなどの対策をしっかりしたいです。」